

令和6年度「魅力ある県立高校づくり推進事業」 ～フューチャープロジェクト（MH普及促進事業）～

11月 第2土曜日
は
やまがた教育の日



高教課非公認
マスコット
コウキョウカッパ



山形県立高等学校ポータルサイト
#輝く未来を山形県立高校から。

<https://kenritsukoko.pref-yamagata.ed.jp/>

山形県教育局

高校教育課



1 事業概要について(県・国事業)



山形県立高等学校ポータルサイト
#輝く未来を山形県立高校から。
<https://kenritsukoko.pref-yamagata.ed.jp/>

11月第2土曜日

は

やまがた教育の日



山形県魅力ある県立高校づくり推進事業「フューチャープロジェクト」

《申請者の現状》

山形県教育委員会では、令和5年度からの新規事業において、持続可能な地域社会の実現や、産業系高校教育の充実のため、自治体・産業界・大学等で構成する協議会（コンソーシアム）を産業系高等学校14校に設置し、地域のニーズを踏まえた教育課程の開発や地域産業界との連携・協働による特色化・魅力化を図ることとした。（コンソーシアムの設置は、R7閉校の新庄南を除く。）

《実施内容》

本事業においては、産業系高等学校15校を拠点校に指定し、コンソーシアムの円滑な運営と地域産業界との連携強化を図るため、地域産学連携コーディネーターを派遣する。
拠点校における各産業の次世代分野（AI・IoT・ドローン・ロボティクス）の研修や産業現場における長期研修（インターンシップ）や地域産業界との連携を図る。（新庄南を拠点校に加える。）

《背景》

- ・中教審答申「新しい時代の高校教育の在り方」
- ・学校教育法施行規則改正（R4. 4. 1）
- ・山形県産業教育審議会答申（R4. 10. 26）

《課題》

- ・コンソーシアムにおける地域産業界との連携強化
- ・社会や各産業の変化に対応できる人材の育成
- ・山形の各産業の未来を担う人材の育成（県内定着）
- ・産業系高校の志願倍率の低下

県立産業系高校 産業教育連携協議会（コンソーシアム）

【大学・学校関係者】

- ・大学教授 ・ 県立産業技術短期大学校教授等
- ・校長、同窓会、PTA関係者等

【自治体】

- ・県、総合支庁担当課
- ・市、町教育委員会
- ・市、町担当部局長

拠点校
15校

【産業界】

- ・商工会議所・企業
- ・JA、農業経営者
- ・市町商工会等

<産業教育連携協議会（コンソーシアム）事務局>

事務局長：各校事務部長（教頭、事務長）
事務局員：市、町各課員、市商工会、学科長等

【コンソーシアムの事業概要】

- ・各産業高校に自治体、産業界、大学等からなる協議会を設置
- ・各産業高校の魅力化・特色化に向けた地域連携事業や教育課程について、協議会において検討する。
- ・各産業高校において、小中学校との連携を強化し、各産業の担い手を目指す入学者増を図る。

連携・支援

《目的》

- 生徒が、地域や社会をフィールドとした学びの中で、技術の進展を肌で感じ、学校の学びを社会貢献に活かそうとする意欲を持つ職業人の育成
- 外部人材の活用により、地域との連携・協働による探究型学習の推進
- 地域産業の理解により、県内就職等地元定着や、大学等進学後の県内帰郷

令和6年度 マイスター・ハイスクール普及促進事業 魅力ある県立高校づくり推進事業「山形県次世代地域産業人材育成事業」



【山形県教育委員会】

- ・事業運営委員会（年2回）
- ・地域産学連携コーディネーターの配置（拠点校へ派遣）
- ・産業教育連携校会議及び研修会（シンポジウム）の開催
- ・成果報告書（デジタル版）発行

【拠点校（山形県立産業系高校15校）】

- ・次世代産業人材育成研修プログラム
- ①次世代分野（AI・IoT・UAV・ロボティクス）研修
拠点校において、次世代分野のスペシャリストによる授業・研修の実施
- ②次世代産業分野長期研修（インターンシップ）
産業現場における長期研修において、地域産業の次世代を担う人材の育成を図る。

拠点校：職業に関する学科を設置する全ての山形県立高校15校

地域産学連携コーディネーターによる地域産業界とのマッチング



2 MH普及促進事業概要



山形県立高等学校ポータルサイト
#輝く未来を山形県立高校から。
<https://kenritsukoko.pref-yamagata.ed.jp/>

11月 第2土曜日

は

やまがた教育の日



令和6年度 マイスター・ハイスクール普及促進事業 魅力ある県立高校づくり推進事業「山形県次世代地域産業人材育成事業」

山形県教育委員会の取組み

1 事業運営委員会の開催(年2回)

(1) 運営委員 (11名)

委員長：山形大学理学部教授	栗山 恭直 氏 (山形工業高校産業教育連携協議会会長)
委員：上山市副市長	鈴木 英夫 氏 (上山明新館高校産業教育連携協議会会長)
委員：東北ハム株式会社代表取締役	帯谷 伸一 氏 (鶴岡工業高校産業教育連携協議会会長)
委員：県立産業技術短期大学校校長	佐藤 俊一 氏 (山形県産業教育審議会委員)
委員：県立山形工業高等学校校長	高橋 良治 氏 (山形県高等学校産業教育連盟会長)
委員：県教育局高校教育課長、課長補佐、主任指導主事、指導主事 (3名)	

(2) 運営委員会の内容

- ①事業計画・実績における成果指標の分析、検証及び次年度以降の事業計画の策定・承認
- ②拠点校における産業教育連携協議会の運営・地域連携に対する指導助言・評価

(3) 開催期日

第1回運営委員会：令和6年7月12日(金) 午前10時から午前11時30分

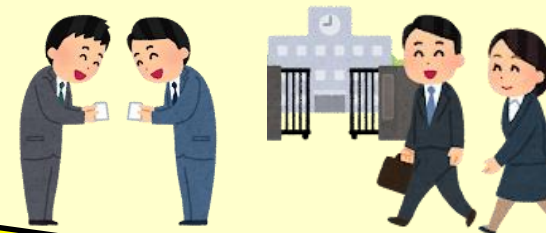
2 地域連携産学コーディネーターの派遣

(1) 目的

産業系高等学校に対し、地域産学連携コーディネーターを派遣し、産業教育連携協議会の円滑な運営と地域産業界との連携強化を図る。

(2) コーディネーターの役割

- ①産業教育連携協議会における地域と学校の連携促進に関連する指導・助言
- ②拠点校のインターンシップ、地域連携に係るマッチング、巡回や企業への助言業務
- ③拠点校の学習成果発表会等における指導・助言
- ④外部機関との連絡調整、連携強化、大学や自治体、企業等の新たな連携先の開拓



連携協議会や各種行事等コーディネーターの受入調整を行います。



3 産業教育連携校会議・研修会の開催

- (1) 産業教育連携協議会による地域産業界との連携状況について情報交換や地域連携の先進県、先進校等の取組を学ぶ研修会を開催する。

4 成果報告書(デジタル版)の発行

- (1) フューチャープロジェクトにおける各校の取組も成果報告書にて記載し、事業成果について県内外に共有する。

山形県 地域産学連携コーディネーター

	所属・役職等	氏名	地域	概 要
	carriere×mikke！ 代表 キャリアカウンセラー 国家資格 キャリアコンサルタント キャリアコンサルティング 技能士2級 山形大学非常勤講師 (キャリア形成論演習) 平成29年～ 令和4年 山形県産業教育審議会委員 令和4年～ 現在 山形県産業構造審議会委員 令和 5年～ 現在 山形県若年女性県内就職・定着 促進協議会委員	あさの 浅野 えみ	村山 (内陸)	山形市出身、リクルートグループ入社後、子育てを機に山形へUターン。大学・高校への就職支援や、働く「若者・女性」をメインにキャリア支援を行う。企業の教育顧問としても従事人のキャリアに関わり24年。相談実績2万人以上。セミナー実績1千回 ●専門（得意）分野 ○学生支援 ・就職セミナー・キャリアカウンセリング・探究学習支援・キャリア教育 ○企業支援 ・企業内カウンセリング・人材定着採用コンサルティング・教育研修・コミュニケーションマネジメント・キャリアデザイン ・ビジネスマナー・アンガーマネジメント・リーダー・女性・若者夢新聞 ○経営者・管理職 ・伴走支援

山形県 地域産学連携コーディネーター

	所属・役職等	氏名	地域	概要
	合同会社 work life shift代表 山形県総合政策審議会委員 山形県若年女性県内就職定着 促進協議会委員 鶴岡市総合計画審議会 産業専門委員 鶴岡中央高校学校評議員 鶴岡工業高校学校評議員	いとう まいこ 伊藤 麻衣子	庄内	名古屋市出身、大手電機メーカーを経て鶴岡市へ移住。学生のキャリア教育に関わりながら、インターンシップのコーディネーターとしても活動し、学生のサポートだけではなく、企業の組織開発や採用サポートなども行っている。 ●専門（得意）分野・実績 実績 ○高校教育 ・インターンシッププログラム企画運営 ・キャリア探究講師：酒田東、鶴岡南SSH ・鶴岡北、鶴岡中央、酒田西、山形北ほか ○自治体事業 ・山形県：未来デザインプロジェクト ・鶴岡市：採用力アップセミナー、 ・庄内総合支庁：若者キャリアセミナー ○企業 ・インターンシッププログラム企画運営 ・アントレプレナーシップ、インターンシッププログラム企画運営：ロート製薬 ○個人 ・コーチング面談 ・起業支援 ○その他 ・大学生向け長期インターンシップ ・高校生キャリア白書2024」執筆・編集

山形県 地域産学連携コーディネーター

	所属・役職等	氏名	地域	概要
	株式会社 ローカル・インキュ ベート代表取締役 第7次山形県教育振興計画検討委員 村山産業高校学校運営協議会委員	すえなが れお 末永 玲於	村山 最上	富山県出身、村山市で関係人口 創出事業に携わり、大学在学中 に起業 ●専門（得意）分野 ・起業支援 ・空き店舗/空き家活用 ・観光振興 ・関係人口創出 ・地域共創の拠点づくり ・デジタルシティプロモーション

山形県 地域産学連携コーディネーター

	所属・役職等	氏名	地域	概 要
	株式会社山のむこう 代表取締役社長 山形県産業教育審議会委員	おおがき たかひろ 大垣 敬寛	置賜 村山	横浜市出身、南陽市地域おこし協力隊として移住、探究教室ESTEM、カフェ等を経営 ●専門（得意）分野 ○企業との探究学習 ・カプセルトイを用いた商品企画販売 ・モンテディオとのマーケティング探究 ・企業の端材・廃材を活用した商品開発 ○その他探究学習 ・国際交流・映画制作・アスリート連携・地域の歴史・宇宙・科学など様々な専門家との探究の実施 ○ICT活用 ・端末の活用サポート ・学校の端末を活用したDX化サポート ○その他 ・カフェ経営 ・アプリ開発

令和6年度 マイスター・ハイスクール普及促進事業
魅力ある県立高校づくり推進事業「山形県次世代地域産業人材育成事業」

産業教育連携校会議及び研修会 (R6.11.21実施)

(1) 【説明】マイスター・ハイスクール普及促進事業説明

・地域産学連携コーディネーターの紹介

(2) 【発表】各学校の取組み紹介（グループごとに分かれて発表）

(3) 【事例発表】福島県立坂井高等学校

・産学官連携コーディネーター 南 良一 氏

(4) 【研修】マイスター・ハイスクールで目指すもの

・（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム

研究開発員 岡崎 エミ 氏

(5) 【説明】マイスター・ハイスクールの成功と失敗

～3年間の取組みを通して～

・株式会社内田洋行 教育総合研究所 井上 信介 氏

(6) 【研修】自校（協議会）の協働体制到達度理解

・（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム

研究開発員 岡崎 エミ 氏

(7) 【講義】産業教育連携協議会の協働体制のレベルを高めるために

・文部科学省総合教育政策局 CSマイスター 布川 元 氏

(8) 【研修】エコシステム構築のためのステップ・協働体制構築を
阻む問題分析

・（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム

研究開発員 岡崎 エミ 氏

(9) 【研修】協働体制構築のためのアイデア創出

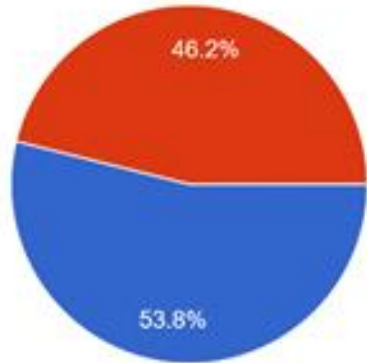
・（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム

研究開発員 岡崎 エミ 氏



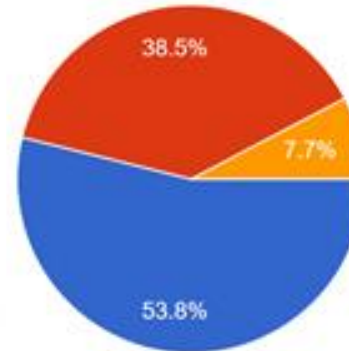
産業教育連携校会議及び研修会の成果

1 本研修の目標である産業界や地域との連携、産業教育連携協議会との協働体制の必要性を理解することができましたか。



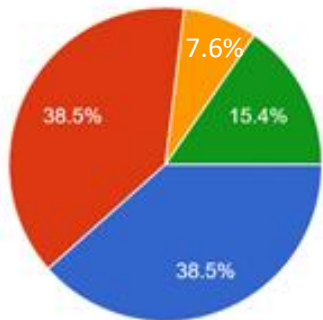
● よく理解できた
● 理解できた
● あまり理解できなかった
● 理解できなかった

2 本研修の目標であるコーディネーターの役割やコーディネーターと協働することの重要性を理解することができましたか。



● よく理解できた
● 理解できた
● あまり理解できなかった
● 理解できなかった

3 研修会に参加して、地域、産業界との連携を推進したいと思うようになりましたか。



● 以前からとてもそう思っている
● 以前からそう思っている
● 研修会に参加して、とても思うようになった
● 研修会に参加して、思うようになった
● 研修会に参加してそう思わなくなった
● そう思わないという気持ちに変化はない

4 研修会の全体を通しての感想を自由にご記入ください。

○コーディネーターの必要性を感じました。企業との打合せや会議がスムーズにいくと思います。

○各校の実情が理解できた。情報交換の場として、有意義であった。

○各学校の取組や課題を共有し、今後に向けて前向きな意見交換ができて良かった。今後はコーディネーターとの連携を強め、自走に向けても検討していきたい。

○まず、各校と情報を共有できたことが何よりです。また、連携協議会の在り方、進め方、校内の共通理解、企業との協働体制等、これまで抱いていた疑問点・不安点について事例を挙げてご指導いただけて、担当者として今後の指針となりました。

○地域連携や企業とのつながりなど、様々な学びがありました。ありがとうございました。

○（他県事例の）先進校や分析担当（文科省委託調査研究）で解釈に差があると感じられた。このあたりの統一普及が大切であると思う。

○研修会方式の場合、県教育センターを使った方が何かと良いのではないかと思います。

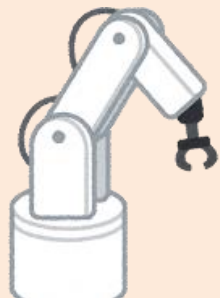
令和6年度 マイスター・ハイスクール普及促進事業
魅力ある県立高校づくり推進事業「山形県次世代地域産業人材育成事業」



各産業系高等学校(拠点校)の取組み 次世代産業人材育成研修プログラム

①次世代分野（AI・IoT・UAV・ロボティクス）研修

①次世代分野のスペシャリスト（産業実務家
又は大学教授等）による講義・実習を実施



②次世代分野産業現場実習（授業）

③次世代分野長期インターンシップ

②企業・大学等産業現場において、各科目の
実習、授業等を実施（学校へ講師を招聘）



③地域企業等産業現場において、概ね2週間
程度の長期インターンシップを実施



令和6年度 マイスター・ハイスクール普及促進事業
魅力ある県立高校づくり推進事業「山形県次世代地域産業人材育成事業」

拠点校
15校

各産業系高等学校(拠点校)の取組み 次世代産業人材育成研修プログラム

①次世代分野 (AI・IoT・UAV・ロボティクス) 研修

【農業】 上山明新館

【工業】 新庄神室

長井工業

米沢工業

鶴岡工業

酒田光陵

農業用ドローンの圃場での実習等

測量用UAV(ドローン)の技術実習2日間

大学教授による明るい未来を創る電子制御システム

生成AIチャットGPTの活用学習(12月)

VRが拡張する人類の未来 VR実演と体験

ロボティクスの挑戦：技術進化と社会変革の最前線

【家庭】 山辺

【土木】 村山産業

新庄神室

米沢工業

置賜農業

介護ロボット普及協会3社による体験と講義(12月)

地元建設業協会と学校堆肥置き場と排水路敷設実習

4企業等と生徒によるグループディスカッション

地元就職卒業生と仕事の意義や高校で学ぶべき事等対談

測量トータルステーション実習



令和6年度 マイスター・ハイスクール普及促進事業
魅力ある県立高校づくり推進事業「山形県次世代地域産業人材育成事業」

拠点校
15校

各産業系高等学校(拠点校)の取組み 次世代産業人材育成研修プログラム

②次世代分野産業現場実習（授業）

【農業】村山産業
上山明新館
置賜農業
庄内農業
【商業】米沢商業

新庄南

東北農林専門職大学・付属農林大学校等での講義
東北農林専門職大学・付属農林大学校等での講義
農業の魅力等講話、生産現場・加工施設体験
大蔵村ワサビ醤油作成実習や新庄東山焼陶芸実習
17社にも及ぶ木材加工や廃段ボール加工実習、
閉校記念作品作り、水質調査、Tシャツ作り実習等
道の駅米沢、地元企業の見学・実習で地域魅力体験

③次世代分野長期インターンシップ

【工業】山形工業
新庄神室
鶴岡工業
長井工業
【家庭】山辺

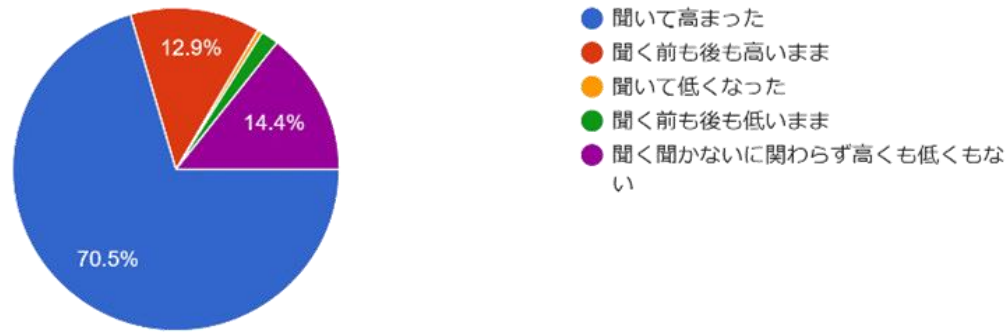
全5科の企業や建設現場体験や会津大学等見学
製品の製造から検査、測定、改善会議の一連体験
モーター部品の加工・製造・検査等体験
イベントの企画・運営・店舗業務の一環体験
カモンマーレや庄内料理店で地場産料理実習

等々

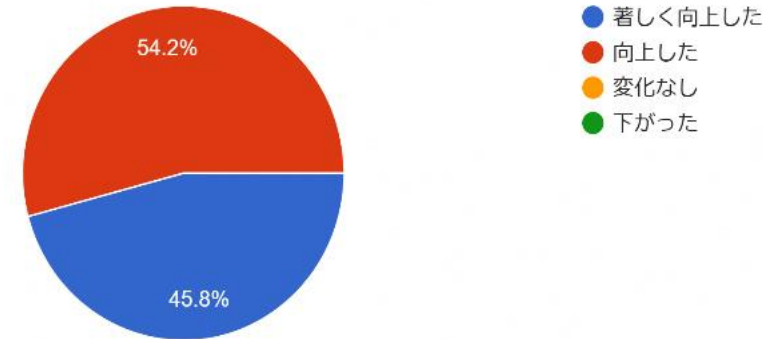


次世代産業人材育成研修プログラム 生徒評価結果（12月現在）

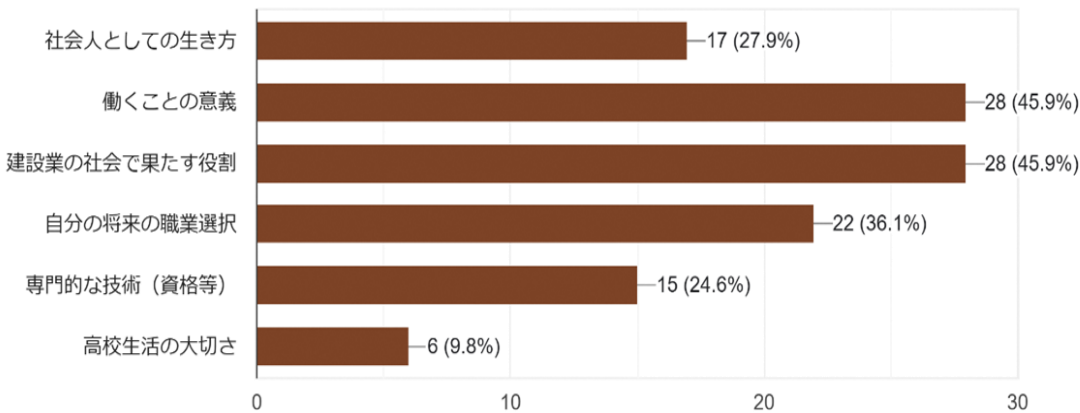
AI・IoT・ドローン・ロボティクスへの興味・関心はどうになりましたか？



長期インターンシップでコミュニケーション能力や協調性は向上したと思いますか？



専門分野(建築・土木)の講話を聞いて学んだことを2つ挙げてください。



評価分析

○次世代分野(AI・IoT・ドローン・ロボティクス)研修
生徒事後評価で「興味・関心」、「役割」、「必要性」に関して70～80%が「聞いて高まった」に変容した。

○次世代分野(建築・土木)研修
生徒事後評価で「興味・関心」、「役割」に関する70～80%が「聞いて高まった」に変容した。「聞く前も後も高いまま」と合わせると、90%以上となった。

○産業現場実習

「興味・関心」「自学科の社会での役割の理解」に関して「実習をとおして高まった」と回答し、実習により70～80%が興味・関心を高めることができた。

○長期インターンシップ

「キャリア設計に役立ったか」、「実践的な技能が身についたか」、「コミュニケーション能力や協調性が身についたか」、「社会人としてのルールが身についたか」でほぼ100%が身に付いた、高まったと回答した。

○自由記述の一部

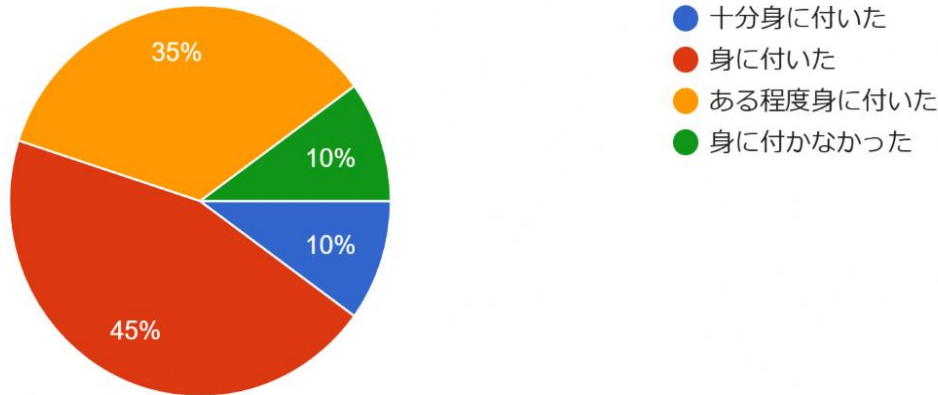
・とてもすごい話も面白くて興味が出ました。

・課題研究に活かしていきたい

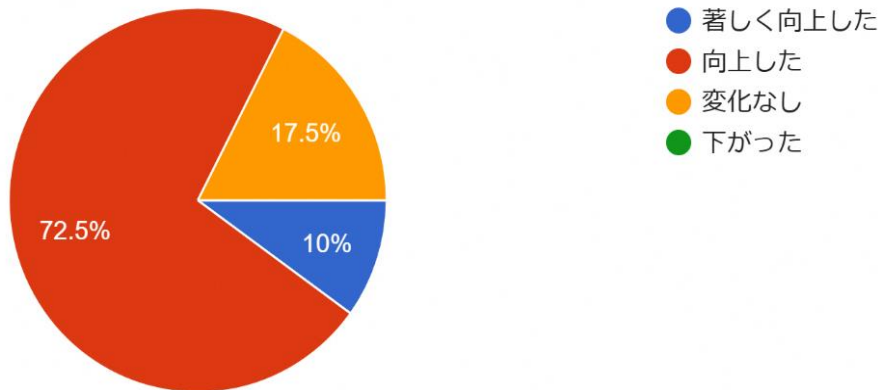
・ドローン、ロボティクスといった技術に対しての理解を深めることができた。
AI はあまり好きではないが、今後自動化を勧めていくためには AI を含めた様々な技術が必要になってくると感じた。電気系との直接的な関係はないものの応用できる部分がありそうだと感じた。

次世代産業人材育成研修プログラム 産業界評価結果（12月現在）

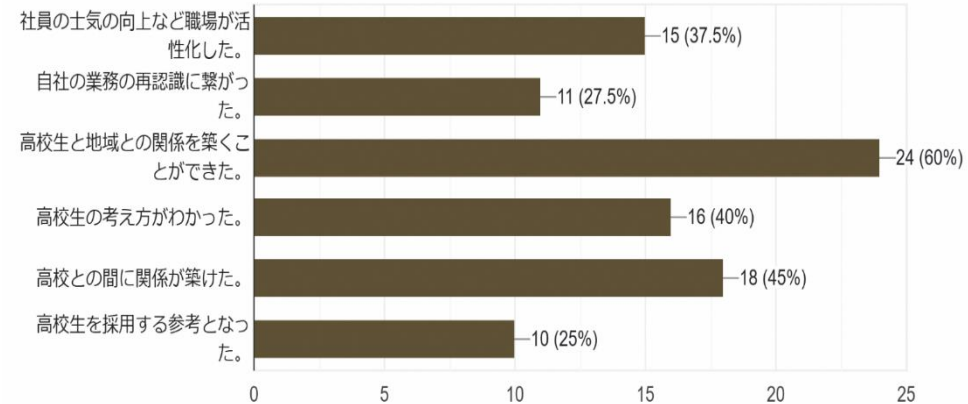
実習の前後で生徒は実践力ある高度な技術は身につけることができましたか？



実習の前後で生徒のコミュニケーション能力や協調性に向上が見られましたか？



本事業への参加により御社にとってどのような利点がありましたか？



評価分析

○「**実践的な技能が身についたか**」、「**コミュニケーション能力や協調性が身についたか**」、「**社会人としてのルールが身についたか**」で**90%**が**身についた**と回答。

○事業所側のメリットとして、「**高校や高校生と関係が構築できること**」や「**高校生の考え方が分かった**」が上位を占めた。

○事業所側の負担に感じていることとして、「**実習指導者の確保**」「**実習プログラムの準備**」との回答が上位を占めた。割合は2割程度であった。一方、「**負担はない**」との回答も2割であった。



3 各学校における取組み例



山形県立高等学校ポータルサイト
#輝く未来を山形県立高校から。
<https://kenritsukoko.pref-yamagata.ed.jp/>

11月 第2土曜日

は

やまがた教育の日



山形県立山形工業高等学校 産業教育連携協議会委員

NO	氏名	所属・役職	(備考・役割)
1	片桐 道德	山形市商工観光部産業政策課 課長	行政（市町村）
2	横山 尚久	山形市教育委員会次長（兼）学校教育課長	教育委員会
3	橋本 善彦	山形商工会議所理事（兼） 事務局長（兼）総務企画部長	経済団体 （商工会議所）
4	吉村 幸樹	エムテックスマツムラ株式会社天童事業所取締役	産業界
5	土屋 浩	株式会社ハイテックシステム代表取締役	産業界
6	石山 徳昭	有限会社石山設計事務所 代表取締役	産業界
7	早坂 紘史	株式会社ザオー測量設計 代表取締役	産業界
8	武田 嘉文	山形新聞社広告局ビジネス開発戦略部（兼）DX推進部 部長	報道
9	栗山 恭直	山形大学理学部理学科 教授	会長（大学等）
10	奥山 正	山形県立産業技術短期大学校メカトロニクス科教授	副会長（大学等）
11	吉田 朗	東北芸術工科大学基盤教育研究センター長・教授	大学等
12	高橋 良治	山形工業高等学校長	学校関係
13	奥出 俊一	山形工業高等学校三光会副会長	監事（学校関係）
14	五十嵐直哉	山形工業高等学校PTA会長	監事（学校関係）

事務局

1	小野寺 真	山形工業高等学校 事務部長	事務局長
2	柴崎 洋一	山形工業高等学校 教頭	事務局次長
3	神尾 博之	山形工業高等学校新山工構想委員会 事務局長	
4	櫻井 晋弥	山形工業高等学校山工元気プロジェクト 事務局長	
5	笹原 義則	山形工業高等学校教務部長 他教職員等 6 名	

愛で育つ山辺高校 3か年計画

1年

- 食物科・「高校生レストラン」視察、実践、「全国へコンテスト応募」
- 福祉科・看護科・「ふれあい広場」の実践、科の特徴を活かした活動

2年

- 福祉科・魅力ある福祉系大学の視察
- 普通科目・専門学科の魅力発信へ協力

3年

- 看護科・魅力ある看護系大学の視察
- 全体・NPO法人、クラウドファンディングによる施設設備



高校生レストラン ～ふれあい広場～

山辺高校生が子育て前半世代を応援！



9/18 は敬老の日！
おじいちゃんおばあちゃんへの
プレゼントのヒントが
かくれているかも...

親子で

ランチ

山辺産の食材を使用します

食物科

子ども向け

みんなで
あそぼう

どんなこと（もの）が
できるかな？

福祉科

大人向け

ハンド
マッサージ

癒しのひと時を
お過ごしください

看護科

9/9(土) 10:00 受付開始
10:15~12:30

山辺町在住の親子(小学4年生以下) 20組限定

参加費(保険料込): 親子1組 1500円

子ども1名追加 600円 / 3歳以下無料

下記QRコードを読み取り、専用
フォームよりお申し込みください
【お問合せ】

山形県立山辺高校

023-664-5462



お子さまランチ



【しゅよく】

- ・ふっくらパン
- ・ケチャップライス
- ・やさいたっぷりナポリタン



【しゅさい】

- ・サクッとエビフライ
- ・いろどりミートローフ



【えいよう】

エネルギー: 652 キロカロリー
たんぱくしつ: 33.8 グラム
ししつ: 33.1 グラム
たんすいかぶつ: 67.7 グラム
えんぶん: 4.4 グラム

【デザート】

- ・やまべぎゅうにゅうをつかった
なめらかのうこうプリン



【ふくさい】

- ・サニーレタスと
トマトのサラダ



【スープ】

- ・ひんやりジャガイモの
れいせいスープ



山形県立山辺高等学校 産業教育連携協議会委員

NO	氏名	所属・役職	(備考・役割)
1	奥山 政行	アルケッチャーノオーナーシェフ	顧問（産業界）
2	飛塚 武	飛塚塗装代表取締役社長	会長（産業界）
3	石塚 友啓	石澤ふとん代表取締役社長	副会長（産業界）
4	阿部 秀顕	山形ピッグファーム代表取締役社長	産業界
5	渡邊 浩子	ゆりかご幼稚園教頭	産業界
6	峯田 和宜	峯田電器代表取締役社長	産業界
7	齋藤 政彦	藤建設代表取締役社長	産業界
8	鈴木 学	山形県議会議員	その他（県議）
9	安達 春彦	山辺町町長	行政（市町村）
10	遠山 進	山辺町美力発信課長	行政（市町村）
11	山口 嘉講	山辺町美力発信課 係長	行政（市町村）
12	佐藤 春美	山辺町保健福祉課長	行政（市町村）
13	砂押 哲也	「やまのべ荘」施設長	産業界
14	大内 郭嘉	山辺高校 校長	学校関係者

事務局

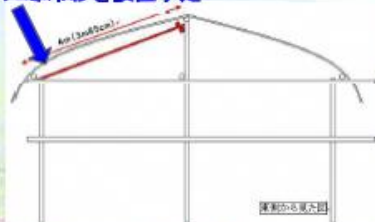
1	井家 千代美	山辺高校 教頭	校務全般
2	菅井 浩二	山辺高校 事務長	監査
3	佐藤 吉	山辺高校 教諭	事務局長
4	沼澤 留美	山辺高校 教諭	事務局次長
5	加藤 恭彦	山辺高校 教諭 他教職員 9 名	コーディネート

山形県立村山産業高校 産業教育連携協議会(コンソーシアム)

ア 農・工連携 カーボンニュートラルチャレンジ

光フューチャープロジェクト2024

この部分に寒冷紗を設置予定



①今年度の取り組み内容

- ・手作り太陽電池パネルの連結
- ・シート巻き上げのモーターとの接続
- ・コンピュータによる圃地状態の把握と記録の収集
- ・雨よけハウスへの巻き取り用パイプの設置
- ・企業から生徒に対する講義をいただく
- ・農工連携としての協働・研究

②支出計画

- ・連結コネクタ 約10万円
- ・接続ケーブル類 約5万円
- ・蓄電用バッテリー 約10万円
- ・電動巻き上げ用資材セット 約30万円
- ・雨よけハウス設置用単管パイプ等 約7万円



スマート車作り ルンバ

イ スマート農林業チャレンジ



①今年度の取り組み内容

- ・農業・肥料散布やマルチスペクトル解析を活用した農作物や森林の生育診断に関する実習を実施する。
- ・高等学校DX事業との連携を行う。

②支出計画

- ・ドローンパーツ 約3万円
- ・航空安全用ツール 約5万円

エ 地元地域PR活動・村山産業高校PR活動に関する地域連携



①今年度の取り組み内容

- ・本校創立10周年記念式典への取組みについて、他学科や地域企業と連携し、取り組む。
- ・3年課題研究、商品開発と流通、観光ビジネス等の授業を中心に地域連携地域をフィールドにした取組みを実施

②支出計画

- ・村産10周年記念シール印刷 約10万円
- ・地域・学校PRのための費用 約4万円

カ 広報活動レベルアッププロジェクト



①今年度の取り組み内容

- ・オープンスクールの改善
- ・早期実施、多数開催(1回→2回)
- ・多様な学校説明会の開催
- ・ナイト・オープンスクール2回
- ・個別相談会の開催
- ・パンフレットやHPのさらなる改善
- ・多様なPR方法を実施

②支出計画

- ・パンフレット作成費用 約10万円
- ・その他PR費用 約8万円

山形県立村山産業高等学校 産業教育連携協議会

NO	氏名	所属・役職	(備考・役割)
1	鏡 修	県工業技術センター所長	行政（県）
2	石山 久悦	県村山総合支庁北村山農業技術普及課 普及推進主幹兼課長	行政（県）
3	阿部 典子	村山市農林課長	行政（市町村）
4	軽部 真也	村山市商工観光課長	行政（市町村）
5	東海林 浩司	東根市経済部長	行政（市町村）
6	三浦 康彦	JAみちのく村山代表理事組合長	副会長（農業団体）
7	松浦 洋二	JAさくらんぼひがしね代表理事組合長	農業団体
8	高橋 辰雄	光洋印刷代表取締役社長	副会長（村山市商工会長、経済団体）
9	武田 昇	(有)武田鮮魚店代表取締役	副会長（東根市商工会長、経済団体）
10	柴崎 雅典	北郡信用組合常務理事	監事（金融）
11	松岡 茂和	株式会社六歌仙代表取締役社長	産業界
12	佐藤 修司	株式会社三和技術コンサルタント代表取締役	産業界
13	豊岡 司	(株) 日立建機カミーノ代表取締役社長	経済団体（産業界） (東根市企業連絡協議会会長)
14	吉田 和宏	(株) 共栄メカ代表取締役会長	経済団体（産業界） (村山市ものづくり産業振興会副会長)
15	半澤 和仁	東北電化工業(株)人事労務部長	産業界
16	武内 賢二	ソーラーワールド(株)代表取締役	産業界
17	森 里史	(有)あぶらや代表取締役	産業界（東根市商工会商業部会長）
18	矢口 匡彦	(有)矢口ソルテール代表取締役社長	監事（産業界）
19	鈴木 祐一郎	(株)ローカルブライト代表取締役CEO	(産業界)
20	齋藤 伸治	(株)Otias代表取締役社長	会長（産業界） (村山産業高校産業教育協力会会長)
21	坂井 孝朗	村山産業高校 校長	学校関係者

事務局

1	佐藤 宏昭	県立村山産業高等学校 事務部長	事務局長
2	野崎 修	県立村山産業高等学校 教頭	
3	皆川 朋典	県立村山産業高等学校 教頭	ほか教務部長等 教諭3名



教育プログラムの内容の検討と実施

○「総合的な探究の時間」の内容検討と実施 外部講師招聘事業



6月28日新庄市:「地域の魅力と課題」

伊藤夢人:㈱つなぐ代表取締役
元外務省職員:岸田外務大臣(当時)
国連でのプレゼンテーション起案
「SDGsの概要と高校生の関わり方」

例:「ことづくりとものづくり」・「AIとDX」



山形大学 小野寺忠司:「アントレプレナーシップ」

東北芸術工科大学: 山縣弘忠
「SDGsを活用した課題発見力」

共同研究等

○ミチノクヒメユリ:㈱テクノブル ○昆虫食研究:ハイジエントテクノロジー

・鮭川村:地域の生産者

地域の希少種
鮭川村花「ミチ
ノクヒメユリ」
の増殖と地域生
産者・大手化粧
品メーカーと連
携した商品開発
(新聞記事)

※出展:全国農業新聞 令和6年5月31日



○長期インターンシップ



共同研究

○スマート農業:南東北クボタ

農機具メーカーと連
携し、学校水田にお
ける無人田植え機
の実演・スマート農業
研修の実施
※更に農業用ドロー
ン、自動運転トラク
タの研修を予定
(新聞記事)

魅力化発進・志願者増

学校PR活動

○学校HP・X・Instagram更新



○OPRポスター制作



○小中連携事業:公開講座・出前授業等



山形県立新庄神室産業高等学校 産業教育連携協議会委員

NO	氏名	所属・役職	(備考・役割)
1	庄司 正人	株式会社山形メタル代表取締役	会長（産業界）
2	五十嵐 忠一	株式会社アイオイ代表取締役	副会長（産業界）
3	齋藤 潤弥	県立新庄神室産業高等学校長	副会長（学校関係者）
4	後藤 健二	最上総合支庁地域産業経済課長	行政（県）
5	小田 節子	最上総合支庁産業経済部農業技術普及課経営企画主幹	行政（県）
6	早坂 真紀	最上教育事務所副所長	教育委員会
7	加藤 正継	新庄市役所商工観光課課長補佐 （地域産業振興担当）	行政（市町村）
8	伊藤 充	新庄商工会議所企業支援課係長	経済団体 （商工会議所）
9	田村 裕	県立農林大学校副校長	大学等
10	高橋 寛典	新庄信用金庫室長代理	金融
11	川田 昭一	もがみ中央農業協同組合代表理事常務	監事（農業団体）
12	菊池 暢義	山形航空電子株式会社総務部長	監事（産業界）
13	松村 超一郎	株式会社新庄エレメックス	産業界
14	柴田 義則	沼田建設株式会社取締役土木統括部長	産業界
15	沼澤 貞義	株式会社沼澤工務店代表取締役	産業界

事務局

1	岡田 颯志	県立新庄神室産業高等学校事務部長	事務局長
2	佐々木 崇	県立新庄神室産業高等学校教頭	
3	安達 祐	県立新庄神室産業高等学校教務部長	他学科長等教諭 7 名

山形県立置賜農業高校 産業教育連携協議会(コンソーシアム)

共同研究

米沢牛飼育農家と連携した食品残差を活用したTMR生産と飼育コスト削減プロジェクト

1



共同研究

農業廃棄物を活用したアップサイクルプロジェクト
～規格外の野菜や果物に付加価値を付与する創造的再利用の研究～

3



教員視察研修

先進農業高校視察研修 (1/25～1/26)

岩手県立水沢農業高校、宮城県加美農業高校、宮城県小牛田農林高校

4



本校の魅力発信

小学生とのふれあい動物園

児童との園芸交流活動

長井市立致芳小学校



山形県立置賜農業高等学校 産業教育連携協議会

NO	氏名	所属・役職	(備考・役割)
1	鈴木 孝之	置賜農業高校体育文化後援会長	会長（学校関係者）
2	井上 俊幸	有限会社井上園芸代表取締役 置賜地域農業経営者協議会長	副会長（産業界）
3	猪野 大輔	農業	産業界
4	江本 牧子	まっきーガーデン代表	産業界
5	遠藤 寛壽	株式会社遠藤畜産 取締役	産業界
6	奥野 貴士	山形大学理学部 教授	大学等
7	片山 祥平	会社員	監事（産業界）
8	紺野 健	川西町立小松小学校 校長	小中学校
9	高橋 哲史	置賜総合支庁農業技術普及課 経営企画主幹	行政（県）
10	高橋 由和	NP0法人きらりよしじま ネットワーク事務局長	地域・自治会等
11	千葉 陽平	チバサンファーム合同会社代表 道の駅米沢 農産加工施設責任者	産業界
12	横山 亜紀	株式会社かわにし森のマルシェ 取締役マネージャー	産業界
13	平田 忠宏	置賜農業高校 校長	学校関係者

事務局

1	長岡 篤志	県立置賜農業高等学校 事務長	事務局長
2	島貫 裕一	川西町教育委員会 指導主事	
3	奥村 大祐	川西町まちづくり課 企画調整主幹	
4	小形 崇洋	川西町産業振興課 生産振興主幹	
5	原田 利信	県立置賜農業高等学校 教頭	

山形県立上山明新館高等学校 産業教育連携協議会

NO	氏名	所属・役職	(備考・役割)
1	鈴木 英夫	上山市・副市長	会長（行政・市町村）
2	横戸 隆	上山市教育委員会 教育長	副会長（教育委員会）
3	奥野 貴士	山形大学理学部 教授	大学等
4	船場 忠幸	山形県産業技術大学校 主任講師	大学等
5	田村 裕	山形県農林大学校 副校長	大学等
6	渡邊 和彦	上山市商工会・事務局長	監事（経済団体）
7	渡辺 秀賢	NPO法人かみのやまランドバンク 理事長	監事（NPO法人）
8	舟越 信弘	上山市教育委員会生涯学習課長	教育委員会
9	木村 昌光	上山市商工課長	行政（市町村）
10	佐々木 慶	上山市観光ブランド推進課長	行政（市町村）
11	伊藤 智彦	上山市農林夢づくり課長	行政（市町村）
12	横戸 利平	上山市建設課長	行政（市町村）
13	荒井 進	株式会社荒正代表取締役 上山市明新館高等学校同窓会長	学校関係者・産業界
14	高橋淳一郎	上山市明新館高等学校PTA会長	学校関係者
15	加藤 千恵	上山明新館高等学校・校長	副会長（学校関係者）

事務局

1	茨木 徹	上山明新館高等学校 事務部長	事務局長
2	飯野 洋	上山市教育委員会生涯学習課 副主幹	
3	山口 拓也	上山市商工課 主任	
4	石山 英司	上山市観光ブランド推進課 副主幹	
5	佐野 千鈴	上山市農林夢づくり課 副主幹 他7名	

令和6年度 産業系高校フューチャープロジェクト取組状況



11月第2土曜日は やまがた教育の日	連携協議会長	地域企業、大学等との連携・共同研究	小、中学校等との連携	学校の魅力発信	令和5年度主な取組
1 山形工業	山形大学 理学部 教授 栗山 恭直 氏	・蔵王温泉イノベーション計画（硫黄の影響による電気設備の問題解決、温泉成分を利用した新商品開発） ・山形大学と連携した「リアルメタバース研究所」	・小中学生対象「未来ものづくり教室」 ・小学校への出前授業（山形市・天童市） ・小中学生対象「プログラミング教室」	・学校説明会の充実（全面広告等） ・ホームページやSNS等を活用した情報発信 ・CMの制作や各種メディア活用	・高大連携により、山大4名、芸工大22名、産技短24名の合格 ・学校見学会553名（前年+1.6倍増）
2 上山明新館	上市市 副市長 鈴木 英夫 氏	・明新館夢未来計画と称し、スチューデントリーダーを中心とする地域連携探究学習の充実 ・地元企業との連携による商品開発（山形プリン）	・放課後児童教室における花生教室の開催 ・探究学習の成果等について、市教委と連携し、小中学校の教育活動に還元する。	・学校公開日、部活動体験会、中学生一日体験入学、個別相談会の拡充 ・学校PVの制作、HPやインスタの活用	・協議会委員の出前講座、校外学習による探究学習の実施 ・芸工大との連携によるPVの制作
3 山 辺	飛塚塗装代表取締役 飛塚 武 氏	・高校ふれあい広場（高校生レストラン、こども縁日ハンドマッサージ）の定期開催 ・ふるさと納税、クラウドファンディングの研究	・小中学校への出前授業の実施 ・小中学校、特別支援学校との交流 ・町内幼稚園のボランティア交流（看護）	・学校見学会の充実（アピール作戦） ・生徒会を中心としたSNSによる発信 ・高齢者弁当、お茶のみサロンの開催	・高校生レストランの定期開催化 ・高校生環境にやさしい料理コンテストグランプリ等多数の入賞実績
4 寒河江工業	那須電機株式会社代表取締役 役 那須 重義 氏	・産学連携による海ごみ回収ロボットの研究 ・輪がまちマルシェへの協力 ・寒河江市次世代子育てステーションとの連携	・各中学校を訪問しての学校説明（7回） ・寒河江市立小学校でのものづくり教室 ・学校チランの中学3年生教室への配付	・HPリニューアル、Instagramの充実 ・街角テレビによる学校広告放映 ・学校チラン作成と配付（村山全域）	・学校祭来場者500名、SNSフォロワー500名、中学校訪問による説明会 ・協議会委員による課題研究指導
5 村山産業	（株）otias代表取締役社長 齋藤 伸治 氏	・農工連携カーボンニュートラルチャレンジ ・全日本製造業コマ大戦むらさん場所の開催 ・地域と連携したPR活動、外部人材の活用	・中学生、保護者向け学校説明会の充実 ・小中学校への出前授業の開催	・広報活動レベルアッププロジェクトにより、パンフレット、HP等の刷新 ・ナイトオープンスクール等の開催	・村山市、企業等と連携し、村山市PR動画を制作 ・全日本コマ大戦には140名が来場
6 新庄神室	（株）山形メタル代表取締役 役 庄司 正人 氏	・山大、芸工大、地域と連携した総経の時間の充実 ・行政、企業と連携したスマート農業、商品開発学習 ・農工連携による温室の環境制御共同研究	・小中連携事業（公開講座及び出前授業等の体験活動）の実施、充実	・PRポスター、スタッフシャツの製作 ・HP、X、Instagramなどによるタイムリーな情報発信	・小中学校出前講座（農6、工12） ・農業新技術に関する教員研修実施 ・地域、産業界の外部講師延べ20名
7 米沢工業	山形大学工学部 副学部長 齊藤 敦 氏	・山大、モビリティ専門職大と連携した研修 ・米沢市と連携したゼロエミッションの実施 ・大学や自治体、企業等と連携した探究学習	・ものづくり教室や防災・減災の学習を通した学校間交流の実施 ・暑さを考慮し、夏休み以外の説明会開催	・HP、パンフレット、パブリティの有効活用 ・生徒会を巻き込んだInstagramなどのSNSの有効活用	・小中学校出前授業、学校説明会参加者延べ346名 ・福島県ファクトリーへの視察
8 米沢商業	ナウエル株式会社取締役会長・米沢商工会議所常議員 宮嶋 敏郎 氏	・地域企業を知る研究の充実 （地元企業のインタビュー訪問とまとも動画の作成） ・地域のお宝開発（米沢味のABC商品開発）	・新高校に向けた学校説明、PR実施 ・米商歌歌、校訓入りシール作成、中学生へ配布	・米工と協力して新高校のパンフレット等を置賜全中学生へ配布 ・米商思い出記念行事の開催	・積極的な情報発信等により、3年連続で入選の最終倍率は約1倍を維持 ・閉校に向けた多様なイベント開催
9 置賜農業	体育文化後援会長・川西町 議会議員 鈴木 孝之 氏	・産官学連携による地域農業課題解決学習の充実 ・専門職大、農林大学校、先進農家訪問研修 ・地域人材を活用した農業学習の充実	・地区全ての中学3年への広報活動の実施 ・小中学生を対象とした「いのち」を学ぶ出前授業、体験学習の実施	・農産物販売、動物ふれあい体験の折り込みチラシを近隣地区に配布 ・HPのパノラマビューの作成	・YouTubeの充実（8/20現在311本） ・事業後のアンケートでは、生徒の農業学習の意欲が倍以上となった。
10 長井工業	体育文化後援会長・（株）ライ ステーション代表取締役 高石 一夫 氏	・農業生産の工業化（複数企業との共同研究） ・地域企業研修の実施（午前：企業見学、昼食：地元食材、午後：若手社員の講話）	・白鷹、長井中学生対象の説明会・見学会 ・全校課題研究発表会に長井市内中学2年生、協議会委員等を招待（長井市民会館）	・SNS等の充実（Instagram開設） ・文化祭における広報活動の充実や小学生及び保護者向けドローン教室開催	・小中学生への体験学習会後のアンケートでは、工業への興味向上が86% ・研究発表会を中学生も招き開催
11 鶴岡工業	（株）東北ハム 代表取締役社長 帯谷 伸一 氏	・「新たな産業を創ろう」起業家精神プロジェクト ・「工業を活かして地域貢献しよう」プロジェクト ・鶴工メタバースチャレンジ塾 地元鶴岡の魅力発信	・体験入学、部活動見学会の充実 （課題研究等の研究成果の積極的な発信）	・HPやメディア活用の情報発信 ・受検者増を狙った学校紹介制作 ・学校紹介メタバースへのアクセス誘導	・探究学習の地域連携が一層推進 ・youtubeでCM掲載後の学校HPのアクセス数前年比1.5倍
12 加茂水産	山形県水産研究所長 阿部 信彦 氏	・地域海洋水産に関連する課題解決研究の地域連携（水産養殖、定置網、DNA生物調査、加茂水族館） ・各系列ごとと産業教育魅力企画バスツアーの実施	・海洋教育研究会における小中連携 ・中学生対象の鳥海丸体験航海 ・やまがた海洋塾との連携	・鳥海丸寄港先のyoutube配信 ・カンパニイベント、鶴岡大産業祭、鶴岡麵フェス、寒ダダ祭への参加	・学校説明会参加者延べ64校109名 ・学校PRパンフレット1,200部配布 ・大山小とのヒラメ・クロダイ講習
13 庄内農業	庄内農業高校同窓会長 齋藤 隆 氏	・地域飲食店と連携した「庄農うどん大作戦」 ・山大農、地域産業高校と連携した共同研究（アグリモバット、加工品試食会の開催等）	・体験入学、オープンキャンパスの充実 ・小中連携との連携（田植えとロボットかるがも農法体験）	・2本目のプロモーションビデオ制作 ・HPやSNS等の効果的な活用（生徒と教員の協働による情報発信）	・山大農学部との連携強化（スマートワールド事業、アグリガミアの研究） ・専門家と連携した学校PRPVの制作
14 酒田光陵	学校運営協議会会長 守屋 裕孝 氏	・酒田船箭筒伝統工芸品をルーブル美術館へ ・動画編集、制作研修会（教員、生徒対象） ・協議会自走化に向けた在り方準備・検討の開始	・酒田市教育委員会との連携による小、中保護者、教員等対象事業の複数開催 ・地区中学校長会での事業説明	・学校紹介動画制作 ・SNS等効果的な情報発信の在り方の研究	・教育系YouTuberとのコラボPV制作 ・地区中学校長会での事業説明 ・世界で活躍するトップセミナーの開催



4 課題及び今後の取組みについて



山形県立高等学校ポータルサイト
#輝く未来を山形県立高校から。
<https://kenritsukoko.pref-yamagata.ed.jp/>

11月第2土曜日

は

やまがた教育の日



今後の課題・取組みについて

1 地域連携の更なる充実

- 産官学、高大連携・共同研究の推進
- 幼、小、中、高齢者等との協働

2 キャリア教育（インターンシップ等）の一層の充実

- 長期インターンシップの受け入れ事業所の壁
- 産業界のスペシャリスト（産業実務家教員）の積極的な活用

3 入学志願者増に向けて

- 学校の魅力発信（SNS等の効果的な活用）
- 産業系高等学校からの多様な進路先の確保・PR

4 産業教育連携協議会の自走化

- 令和8年度からの自走化に向けた計画の策定（外部資金の調達）
- 連携協議会委員の学校教育活動への積極的な参画
 - ・産業界59名 ・経済団体等18名 ・行政（県市町）37名
 - ・教委7名 ・大学等19名 ・小中学校4名 ・学校関係者31名
 - ・地域・町内会等5名 ・その他2名 計182名（令和6年度委員）

5 事業評価と分析について

- ・次世代分野研修等個別事業の評価、全体ルーブリック評価と分析

山形県M・H普及促進事業 ルーブリック評価と目標①

N O	項目\到達度		到達度 1	到達度 2	到達度 3	到達度 4	目標
1	学校経営	スクール・ポリシーの策定・見直し	スクール・ポリシーは策定・共有されていない。もしくは、今までの学校目標等のまま、特に対話や改善もしていない。	スクール・ポリシーは管理職や学校内の一部のメンバーで、策定・共有されている。	スクール・ポリシーは、学校内の教職員全体で、策定・共有されている。	スクール・ポリシーは、教職員をはじめ生徒や学校外の関係者等が参画し、策定・共有され、次の見直しに向けて検討されている。	3
2	学校経営	目指す学校像の共有・浸透	スクール・ポリシー等の目指す学校像は、生徒・教職員をはじめ関係者に、共有されていない。	スクール・ポリシー等の目指す学校像は、生徒・教職員をはじめ関係者に、形式的には共有されているが、理解・納得はされていない。	スクール・ポリシー等の目指す学校像は、生徒・教職員をはじめ関係者に理解・納得されているが、日常的に参照・活用はされていない。	スクール・ポリシー等の目指す学校像は、生徒・教職員をはじめ関係者に理解・納得され、日常的に参照・活用されている。	4
3	学校経営	校内推進体制の整備	スクール・ポリシー等の目指す学校像の実現(地域連携を含む)に向け、実際に動く体制はない。	スクール・ポリシー等の目指す学校像の実現(地域連携を含む)に向け、管理職や一部のメンバーが属人的に動いている。	スクール・ポリシー等の目指す学校像の実現(地域連携を含む)に向け、実質的に動くチームや校内組織が整備されている。	スクール・ポリシー等の目指す学校像の実現(地域連携を含む)に向け、教職員全体で組織的・一体的に動ける校内体制が整備されている。	4
4	学校経営	業務の精選・分担	スクール・ポリシー等に基づいた地域連携や教育活動は業務内容の精選・再編等の見直しはされておらず、業務は増えている。	スクール・ポリシー等に基づいた地域連携や教育活動は業務内容の一部精選・再編等の見直しがされたものの、業務は縮減されていない。	スクール・ポリシー等に基づいた地域連携や教育活動は業務内容の精選・再編等の見直しがされ、学校内での役割分担のもと、業務の適正化が進められている。	スクール・ポリシー等に基づいた地域連携や教育活動は業務内容の精選・再編等の見直しがされ、学校外の関係者も含めた役割分担のもと、業務の適正化が進められている。	3
5	教育課程	地域との連携によるカリキュラムの開発	育成する資質・能力に向けて、地域・社会の資源を活用した特色・魅力ある教育活動が、課題研究や総合的な探究の時間等の一部分で属人的に取り組まれている。	育成する資質・能力に向けて、地域・社会の資源を活用した特色・魅力あるカリキュラムが、総合的な探究の時間や課題研究等においては、系統的・組織的に取り組まれている。	育成する資質・能力に向けて、地域・社会の資源を活用した特色・魅力あるカリキュラムが、総合的な探究の時間等と各教科・科目を相互に関連付けながら教育課程全体として、系統的・組織的に取り組まれている。	育成する資質・能力に向けて、地域・社会の資源を活用した特色・魅力あるカリキュラムが、教育課程外の取組みとも相互に連携・関連付けられながら学校全体として、系統的・組織的に取り組まれている。	3
6	学校経営	広報・生徒募集(地元)	地元(通学圏内)からの生徒募集に向け、効果的な魅力発信や生徒募集施策を検討できておらず、今まで通りの広報を行っている。	地元からの生徒募集目標を設定し、達成に向け、中学校や保護者・生徒へのヒアリング等により、生徒募集における現状・課題等の把握は行っているが、効果的な魅力発信や募集施策は行われていない。	地元からの生徒募集目標を設定し、現状や課題を踏まえた魅力発信や生徒募集施策の改善を行っているものの、志願者を期待通り確保することはできていない。	地元からの生徒募集目標を設定し、達成に向け、生徒同士の交流活動や中学校と連携した取組み等を通じて、学校の魅力が中学生や保護者、中学校等へ効果的に伝えられており、志願者を期待通り確保することができている。	4
7	教育課程	学習者中心の教育活動	課題研究及び探究学習において、生徒一人一人が自己の興味・関心等に紐づいた学びを行えず、在り方生き方を主体的に考える機会もなく、高校生活を送っている。	課題研究及び探究学習において、生徒一人一人による自己の興味・関心等に基づいた学び、在り方生き方を主体的に考える機会の必要性は理解されているが、機会の提供はできていない。	課題研究及び探究学習において、一部の生徒が自己の興味・関心等に基づいて学び、在り方生き方を主体的に考え、進路を自分自身の考えで決定している。	課題研究及び探究学習において、生徒一人一人が自己の興味・関心等に基づいて学び、在り方生き方を主体的に考え、多様な進路希望を選択・実現できるようになっている。	3

山形県M・H普及促進事業 ルーブリック評価と目標②

NO	項目\到達度		到達度 1	到達度 2	到達度 3	到達度 4	目標
8	教育課程	生徒の主体的参画	フューチャープロジェクト等の地域連携事業の企画・運営・推進において、生徒の参画機会は与えられていない。	フューチャープロジェクト等の地域連携事業の企画・運営・推進において、生徒に役割が与えられ、参画している。	フューチャープロジェクト等の地域連携事業の企画・運営・推進における意思決定の際に、生徒に意見提供の機会が与えられ、参画している。	フューチャープロジェクト等の地域連携事業の企画・運営・推進における意思決定に生徒が主体的に参画している。	2
9	協働体制	協働体制の構築	高校と産業界・関係機関等が、対話や合意形成を行う会や体制はない。	高校と産業界・関係機関等が、情報交換や意見交換を行う会はあるが、方針・計画・予算等の合意形成や承認を行う体制は構築されていない。	高校と産業界・関係機関等が、方針・計画・予算等の合意形成や承認を行う体制は構築されているが、事務局案の追認等に留まり、具体的・実質的な対話はされていない。	高校と産業界・関係機関等が、具体的・実質的な対話を行うとともに、方針・計画・予算等の承認・意思決定を行う体制が構築されている。	4
10	協働体制	協働活動の推進	フューチャープロジェクトにおいて、高校と産業界・関係機関等は目標の共有や協働活動ができていない。	フューチャープロジェクトにおいて、高校と産業界・関係機関等が目標の共有はしたが、連携した具体的な活動は実施できていない。もしくは、学校からの依頼に応じた連携活動は実施しているが、目標の共有はできていない。	フューチャープロジェクトにおいて、高校と産業界・関係機関等が目標を共有し、計画的に活動を実施できているが、地域や関係機関等が学校を支援する一方向的な連携に留まっている。	フューチャープロジェクトにおいて、高校と産業界・関係機関等がパートナーとして目標を共有し、学校を支援するという一方向的な活動に留まらず、多様な協働活動を継続的に実施できている。	4
11	協働体制	PDCAサイクルの確立	フューチャープロジェクトにおいて、具体的な目標・指標は設定されておらず、対話を通じた振り返りや評価も行われていない。	フューチャープロジェクトにおいて、具体的な目標・指標が設定され、各種データによる確認はされているが、対話的な振り返りや改善は行われていない。もしくは、各種データ等によるエビデンスに基づいていない対話や振り返りが行われている。	フューチャープロジェクトにおいて、具体的な目標・指標が設定され、各種データ等のエビデンスに基づき教職員が対話的に評価・改善を行っている。	フューチャープロジェクトにおいて、具体的な目標・指標が関係者に共有され、各種データ等のエビデンスに基づき、教職員に加え関係者等も含めて対話的に評価・改善が行われている。	4
12	協働体制	コーディネーター・外部専門人材の確保	関係機関等との連携協働を推進する地域産学連携コーディネーター及び外部専門人材(産業実務家教員)の必要性は認識されていない。	関係機関等との連携協働を推進する地域産学連携コーディネーター及び外部専門人材(産業実務家教員)の必要性は認識されているものの、求める要件に見合う十分な財源確保ができていない。	関係機関等との連携協働を推進する地域産学連携コーディネーター及び外部専門人材(産業実務家教員)に求める要件の設定と財源確保はできたものの、求める要件に合う人材を採用・配置できていない。	関係機関等との連携協働を推進する地域産学連携コーディネーター及び外部専門人材(産業実務家教員)が採用・配置され、効果的に育成・活用されている。	4
13	協働体制	資金・財源の確保	フューチャープロジェクト等地域との連携について、今まで通りの学校予算以外に、資金や財源の確保はできていない。	フューチャープロジェクト等地域との連携について、国や都道府県の事業等により、当面の資金確保はできているが、当該事業等の終了後の資金確保の目途は立てられていない。	フューチャープロジェクト等地域との連携について、行政の制度や計画に位置づけられるなど、持続的な予算・財源確保の目途が立てられている。	フューチャープロジェクト等地域との連携について、行政による持続的な予算・財源確保に加え、寄付等を活用し自由に使える資金も確保できている。	3
14	協働体制	価値理解	【価値理解:なし】 フューチャープロジェクト等地域との連携について、取組の必要性や価値・効果は定量的に可視化されておらず、その必要性も関係機関に理解してもらえていない。	【価値理解:定性的な理解】 フューチャープロジェクト等地域との連携について、取組の必要性や価値・効果は定量的に可視化されていないが、その必要性を関係機関に理解してもらっている。	【価値理解:データで取組の必要性を可視化。取組効果の可視化は未了。】 フューチャープロジェクト等地域との連携について、取組の必要性や価値が可視化され、関係機関等に共有されているが、取組効果は可視化されていない。	【価値理解:データによる取組効果まで可視化】 フューチャープロジェクト等地域との連携について、取組の必要性や価値・効果がストーリー全体を支える形で可視化され、関係機関等に共有されている。	2



ご清聴ありがとうございました。

山形県教育局 高校教育課



山形県立高等学校ポータルサイト
#輝く未来を山形県立高校から。
<https://kenritsukoko.pref-yamagata.ed.jp/>